MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network

2018年10月★第127号

年に１度の会員と市民のお祭り、MELONフェスタを開催しました！

第23回MELON会員と市民のつどい～MELONフェスタ～
日　時：9月29日（土）13：30～16：00
会　場：会場：仙台市シルバーセンター 7F　第1研修室
参加者：91名

会員と役員・事務局の交流を目的に開催している恒例のMELONフェスタ。今年は台風の接近も懸念されましたが、曇り程度で問題なく開催することができました。丸森町を中心に活動するポップスユニット「Tae-chu（たえちゅー）」のお2人の素晴らしい歌と演奏で幕を開け、会員企業や部会・プロジェクトによるブース出展、市内3大学のサークルとMELONインターン生によるPRタイム、食部会による紙芝居披露、最後はブース表彰式と盛りだくさんの内容でした。いつもMELONの活動を支えてくださるボランティアの皆さんと役員や事務局スタッフも含め、会場にいた全員が時間を共有し楽しい１日を過ごしました（詳細はP2参照）。

素晴らしい演奏を披露してくれた「Tae-chu」のお2人

にぎわうブースエリア

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク――通称『MELON』。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体で作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため１人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。
MELON会員特典
- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
- ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
- ボランティアや部会に参加するごとにボランティアポイントが１個もらえ、５個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
- MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
- メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。

～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

P1　年に１度の会員と市民のお祭り、MELONフェスタを開催しました！
P2　MELONフェスタ、今年も盛会でした！
P3　始動！海洋ごみ調査・削減プロジェクト！
　／仙臺農塾～6月開催報告～
P4　親子で自然エネルギーについて楽しく学びました！
　／かんきょう見聞記「経済と『人の道』」
P5　協同組合からのお知らせ
　／目指せ100人！環境リレートーク　阿部倫子さん
P6　ストップ温暖化センターみやぎ通信
P7　身近な生物多様性を学習しよう！
　／「水道フェア2018」で水の実験を行いました
　／紙芝居、見に来てけらいん♪
P8　トピックス／イベント一覧／編集後記

MELONフェスタ、今年も盛会でした！

「Tae-chu」のコンサートに盛り上がる会場

石垣政裕実行委員長の挨拶とMELON第7期事業報告に続き、オープニングは、丸森町を拠点に全国で活躍するポップスユニット「Tae-chu」のお2人のミニコンサートです。CMソングになっている「オモイデ日記」やアンコールも含め5曲演奏していただき、ボーカルTaeさんの澄んだ歌声に全員が魅了されました。丸森町に残る自然環境の大切さや、大人の振る舞いを正して子ども世代に伝えていかなくてはいけないという熱い想いを語っていただき、MELONスタッフとしてとてもうれしく思いました。

学生サークルPRタイムでは、3つの大学サークルに加え、損保ジャパンCSOラーニング制度によりMELONでインターン活動をしている2人の大学生インターンも出演しました。活動紹介ビデオや寸劇などさまざまな発想で活動発表し会場を盛り上げました。食部会が作製したネオニコチノイド系農薬に関する紙芝居の披露もあり、ブース以外に部会が活動発表をする場として良い機会となりました。

会場内では、MELONの会員企業有志と部会・プロジェクト、学生が合計18のブースを出展し、3つの部門ごとに来場者が良いと思ったブースを投票してもらいました。その結果、部門ごとにトップ得票だった3つのブースを表彰しましたが、ブースはどれも好評で投票は大接戦となりました。また、理事長が独断で表彰する理事長賞も発表され、大いに盛り上がりました。

来場者からは「初めて参加したが大変良いイベントで来年は友人・知人にも教えたい」「コンサートがとても良くて感動しました」などうれしい感想をいただきました。普段活動参加している会員の皆さんも役員との交流機会は少なく、部会・プロジェクトメンバーが一同に会する機会はMELONフェスタだけなので、年に一度の楽しい交流の場になったと思います。

寸劇で会場を沸かせるインターン生

◆ブース表彰者（カッコ内は賞品提供企業）
- 会員企業部門：株式会社サイコー（特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹）
- 学生部門：MELONインターン生（みやぎ生活協同組合）
- 部会・プロジェクト部門：食部会（株式会社サイコー）

◆理事長賞（賞品提供：長谷川公一理事長）
ケンタロ・オノさん：一般社団法人日本キリバス協会代表理事。学校や市民向けに2年前からストップ温暖化センターみやぎで行っている「キリバス環境出前講話」の講師であり、MELONと研究者がキリバス共和国で行っている再生可能エネルギー事業の橋渡し役も担っている。

受賞者とプレゼンターの皆さん

来年以後も実行委員会で改善点や内容を吟味し、さらにより良い「会員と市民のつどい」を目指していきます。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました！今年はお会いできなかった皆さまも来年はお会いできることを楽しみにしています！

理事長賞受賞のケンタロ・オノさんと
長谷川理事長

＜出展会員企業＆出演・出展学生サークル＞
株式会社サイコー、株式会社サングラフィックス、特定非営利活動法人フォレストサイクル元樹、みやぎ生活協同組合、環境活動サークルFROGS（尚絅学院大学）、環境サークルたんぽぽ（東北工業大学）、東北大にひとめぼれプロジェクト（東北大学）、MELONインターン生

始動！海洋ごみ調査・削減プロジェクト！

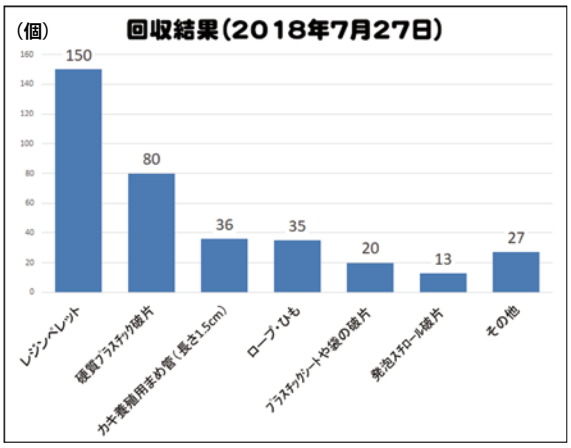
近年、海洋を漂流するごみやマイクロプラスチック（海洋に流れたプラスチックが水中で5mm以下に細分された物）による汚染が社会的に大きく注目されています。そんな中、4R推進部会でも何かできないかと海洋ごみ調査・削減プロジェクトを始動させました。

その一環として、7月27日に仙台市の深沼海水浴場で海洋ごみ調査を実施。ロープで囲った3m×3mのエリアを約1時間かけてごみ拾いしました。回収したごみの総量は1.6kg、その中でも一番多かったのがレジンペレット（プラスチックの原料として使用されるプラスチック小粒）150個！それ以外にも漁業で使われるロープの破片や飲料用ペットボトルなど20種類ほどのごみを回収し、改めて海洋ごみ問題の深刻さを感じました。

ごみ調査中

今後も定期的に海洋ごみ調査を実施していくと共に、2月にはセミナーを予定しています。皆さま情報をお待ちください！

回収したごみ



仙臺農塾　大人の食育プロジェクト

第6回「みんなでミョウガタケを味わおう♪」
日　時：2018年6月13日（水）19：00～21：00
ゲスト：三浦隆弘さん（名取市農家）
会　場：PIZZERIA　PADRINO　DEL　SHOZAN
（青葉区上杉2-1-50 勝山館1Ｆ）
参加者：37名

上杉にあるPIZZERIA　PADRINO　DEL　SHOZANに三浦隆弘さんを招いて、旬のミョウガタケをイタリア料理に取り入れ、その生態と美味しい味わい方について学びました。

名取の伝統野菜である、ミョウガタケ。生産量も全国一といわれています。一般的に見かけるミョウガはつぼみですが、ミョウガタケはほとんど日光に当てずに育てられた茎のことです。稲わらに囲まれた暗がりの中で栽培されます。

伝統のミョウガタケについて語る三浦さん

ミョウガタケは血行を良くしたり、免疫力を高めたりすることや、気軽に楽しめる酢の物、卵とじ汁などをはじめさまざまな調理方法、また地域に貢献している農家のことなど盛りだくさんのお話があり、皆さんとても興味深く聞き入っていました。お店の三橋シェフも、イタリアの世界大会から戻られ、ピッツァ作りのパフォーマンスや、食のお話をしてくれました。

和と洋のハーモニー、ミョウガタケのピザ

これからも地元の食材を掘り起こし、その味覚も堪能できる魅力いっぱいの講座をお届けいたします。

親子で自然エネルギーについて楽しく学びました！

「親子でソーラーカーを作ろう！」
日　時：7月21日（土）10：00～12：00
場　所：みやぎ生協集会室（フォレスト仙台5F）
参加者：19名

毎年、夏休み中に開催しているソーラーカー作り。会場は夏休みに入ったばかりの子どもたちと保護者の皆さんで熱気に溢れていました。自然エネルギー〇×クイズは今年リニューアルし、自然エネルギーの発電割合について答えたり、節電タップを使って省エネルギーのライフスタイルを提案する内容に変更しました。また、地球温暖化の用語は低学年の子どもにはちょっと難しかったようですが、保護者にも説明してもらって回答していました。今回作ったソーラーカーは太陽光パネルで発電した電気で動くので、電池を使わないため二酸化炭素の削減にもつながります。

環境問題の〇×クイズにチャレンジ！
正解できたかな？

ソーラーカー作りでは、普段忙しい保護者と一緒に子ども達が仲良く時間を過ごしていたのがとても印象的でした。今後も自然エネルギーを取り入れたライフスタイルを提案していきます！

曇り空だったので、太陽の代わりの
電灯の光で走らせました♪

経済と「人の道」

落語篇⑩

三遊亭圓生（さんゆうていえんしょう）「帯久（おびきゅう）」

石垣政裕（MELON理事）

8月の初旬、ある家具店へ紙のストローを買いに行ったのですが、扱っていないということですごすごと帰ってきました。それから、1ヶ月もしないうち、同じ店がストローなどの使い捨てプラスチック製品の販売をやめるというニュースがラジオから流れました。

プラスチックごみによる海洋汚染に対応した動きですが、製造や流通などももはや環境を無視できない時代になりました。今回は6代目三遊亭圓生の「帯久」（圓生百席7、ソニー・ミュージック・エンターティメント、1997年）を聞いてみましょう。

商売がうまくいかない呉服屋の久七は、金を借りた同じ呉服屋の和泉屋与兵衛に百両というお金を返しにやってくる。2人っきりの部屋、与兵衛が急用で席を外したところで、久七は与兵衛が残していった百両を懐に入れて帰ってしまう。そのお金を元に久七の店は繁盛し、盗まれた与兵衛の方は娘も妻も亡くし、おまけに火事で店も焼けてしまう。困った与兵衛は自分を助けてくれた元の番頭のために、今は羽振りのいい久七の店に借金を頼みに行く。しかし、久七は昔のことも忘れて、与兵衛をたたき出してしまうのです。

人間はついつい「人の道」を外れてしまうこと、商売も倫理の上で成り立たせる大切さが語られます。圓生の語りは、1人ひとりの登場人物を深く、丁寧に描きます。

『経済』にも哲学や道徳が必要だと説いたのは、日本の資本主義の初期を牽引し、「日本経済の父」とも呼ばれる渋沢栄一でした。今、世界のあちこちに被害をもたらしている異常気象の原因として地球温暖化が強く疑われています。なのに、未だ何一つ解決されていない原子力なんかに頼らず、自然エネルギーを目指す津波被災地仙台に、しれっと石炭火力発電所を建設してしまうことが、はたして私たちがめざす『経済』なのでしょうか。

この落語を聞きながらふと、「圓生だったら、この火力発電所に係わった一人ひとりの気持ちをどう描くのかなぁ」などと思ってしまうのです。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

「子どもたちに平和な未来を」～渡辺祥子さん朗読会

みやぎ生協は過去の戦争の体験から「平和とよりよき生活のために」をスローガンにかかげ、だれもが安心してくらし続けられる平和で持続可能な社会を目指しています。
朗読を聞きながら日常の平和の尊さを感じ、命の大切さを考えてみましょう。

出 演 者：朗読　渡辺祥子さん
　　演奏　松原美智子さん（ピアノ）、鈴木繁さん（オーボエ）
参 加 費：500円（小学生以下無料）
申込締切：11月10日（土）＊応募多数の場合抽選。当選者にのみ参加券を送付。

日　程	12 月 11 日（火）	12 月 13 日（木）	
時　間	10：30～12：00	昼の部　10：30～12：00	夜の部　18：00～19：30
会　場	パレットおおさき プラネタリウム館	仙台市 市民活動サポートセンター 市民活動シアター	
託　児	なし	あり（1 歳以上・定員 10 人 ※要申込み）	なし

問合わせ・申込み先
〒981-3194　仙台市泉区八乙女4-2-2　みやぎ生協生活文化部　くらしの活動事務局
TEL：022-218-3880　FAX：022-218-3663　メール：sn.mkankyouk@todock.jp

目指せ100人！
環境リレートーク

第70人目の執筆者
阿部倫子（みちこ）さん
（技ありプロジェクト
in 丸森事務局）

地域おこし協力隊の活動をしながら、丸森町のシルク文化に携わる活動をしています。
かつて丸森の養蚕は県内一を誇り、最盛期は2,000戸の農家が繭を生産。商品にならない繭（くず繭）から糸をとり、家族のために衣を織ることが暮らしの一部であったほどシルクは身近な存在でしたが、農業人口の減少や化学繊維の発達などで衰退し、5戸の農家で伝統産業を支えているのが現状です。
しかし今「この地に技ありプロジェクト」とのご縁により、地域資源を生かした持続可能な産業の再構築に向け、シルク文化再興の兆しが見え始めています。

これまで近いようで関係が薄かった養蚕農家と、染織・シルク入り和紙・繭細工作家がつながり、双方を知り補い合う関係もできました。農家から譲り受けたくず繭や廃棄していた毛羽（蚕が繭を作る時に足場となる最初に吐く糸）の活用、織糸に使えない糸は和紙材へ、和紙の切れ端は織材や繭細工作品へと無駄のない循環的な仕組みも構築されつつあります。
丸森シルクに魅せられた1人として、風土や先人の知恵に根ざした資源と向き合い、シルクに関わる仲間達や関心も持って下さる応援者とともに、この地らしい在り方を探っていきたいです。

＜この地に技ありプロジェクト＞
H　P：http://co-atelier.jp/
mail：manamiyage.marumori@gmail.com

… 次号執筆者紹介 …
柳沼眞理さん
（シンプル＆スローライフの会代表・
農風cafe杜ノ遊庭（もりのあしびな）店主）

ストップ温暖化センターみやぎ通信　Vol.82

地球のために宮城から！

2016年11月に発効された「パリ協定」、2016年5月の「地球温暖化対策計画」を受け温室効果ガス排出量の大幅な削減が求められている中、宮城県内の二酸化炭素（以下CO_2）排出量は震災以降増加傾向にあります。また、CO_2排出量のうち約4割が家庭部門と業務部門から排出されています。

昨年度に引き続き宮城県「地球温暖化防止対策普及啓発事業」をうけ、家庭と事業者向けの普及啓発事業を実施しています。

エコチャレンジフェスタ
inユアスタ仙台

ベガルタ仙台のホームゲームに合わせ「エコチャレンジフェスタinユアスタ仙台」（7月28日開催）を皮切りに、東北楽天ゴールデンイーグルスのホームゲーム時に開催した「楽天生命パーク宮城エコ体験ブース」（8月21、22日）と、プロスポーツ団体と連携したイベントを開催。ブースでは地球温暖化防止クイズラリーで夏にできる省エネについてなど楽しく学んでもらいました。

その他にも9月9日角田市で開催された「はやぶさまつり」へブース出展し、事業者向けに10月4日「エネルギー見える化セミナー」を開催しました。

はやぶさまつり

今後は、11月3日石巻市で開催される「環境フェア2018かなん」へのブース出展や1月12日にはせんだいメディアテークにてイベントを開催する予定です！

推進員だより　No.27

推進員活動をするには

前半での講義

9月8日（土）に第1回宮城県地球温暖化防止活動推進員研修会を開催しました！会場のフォレスト仙台の会議室には15名の推進員が参加し、その内8名が今年4月に新しく委嘱された新人さんでした。講師にリードクライム株式会社代表取締役の西直人さんを迎えました。西さんは全国で活躍するワークショップファシリテーターで、2013年に続き2回目の講師です。

研修の目的は推進員活動の活性化と企画力アップです。限られた時間内でしたが、講座の初めに「本日の目的と結論」が明言されたことで内容が凝縮されたようです。

研修の目的と結論

仲間を増やす努力を！
「答え」だけを教えていませんか？
情報発信意識を！

これらを基に講座は進み、チーム分けの第1歩として実践の場を各自が選択しました。12月9日（日）の新規推進員研修会でのプレゼンと、1月12日（土）「なっ得！発見！みやぎ環境フォーラム2018」の展示の2つから選びます。各自の関心毎にチーム分けした結果、12月のプレゼンに2チーム、1月の展示に2チームで挑戦することになりました。

今回の研修は新推進員と既存の方との出会いが刺激になったように思えます。是非、メディアテークで開催される1月12日（土）「なっ得！発見！みやぎ環境フォーラム2018」で成果の一部をご覧ください。

各自が関心事を共有してグループ分け

サイエンスデイ2018ブースに出展「身近な生物多様性を学習しよう！」

日　時：7月15日（日）9：00～16：00
場　所：東北大学川内北キャンパス 講義棟
主　催：特定非営利活動法人 natural science
ブース来場者：約200名

みやぎ里山応援団では「生物多様性」をテーマに出展しました。「生物多様性」とは、地球上にはたくさんの生物が生きていて、長い歴史の中で相互のつながりを持っていることをいいます。来場した親子に生物多様性について情報提供し、植物の大切さ・維持していくためにどのようなことができるかを考えるきっかけとなるように工夫しました。

樹種当てクイズでは丸太と写真を手掛かりに、桜やクルミ、シラカバなど7種類を当ててもらいました。小さい子どもには間伐材の積み木遊びや、鳥・虫・カエルなどの鳴き声を鳴らす機械がとても人気でした。「モーモー」と聞こえるウシガエルや、甲高いキジの声を何度も再生していました。今後も「生物多様性」や身近な植物に関心を持つ人が増えるような活動をしていきます。

間伐材の積み木は
杉の香りがいっぱい！

「水道フェア2018」で水の実験を行いました

日　時：7月24日（火）11：00～16：00
場　所：せんだいメディアテーク1F
主　催：仙台市水道局
ブース来場者：約300名

平日の開催にもかかわらず、夏休みに入った子どもたちがたくさん来場してくれ、賑やかなイベントとなりました。

MELONのブースでは、軟水と硬水を使用した緑茶を飲み比べて味の違いを感じてもらったり、粉せっけんを水に溶かして、軟水と硬水の泡立ちの違いを体感する実験を行いました。軟水と硬水の違い、それらがどのように生成されるのかを紹介し、多くの質問がありました。

普段、なにげなく使っている「水道」。特に日本では、当たり前のように供給されていますが、改めて見直してみると知らなかったことや感心することが多々あり、その有難さに気づきます。今回のようなイベントを通じて、普段の生活を見つめなおし、環境に配慮した快適な生活を送れたらいいですね。

軟水と硬水どちらが
緑茶にあうかな？

紙芝居、見に来てけらいん♪

日　時：9月1日（土）10：30～15：00
場　所：たいはっくる、長町笹谷街道周辺
（MELON上演場所：石田酒店）
主　催：仙台長町紙芝居フェスティバル実行委員会、
長町まざらいん

手裏剣で電気を消していく
「スイッチ忍者」上演中！

「笹谷街道」とは仙台市と山形市を結ぶ重要な流通路として古くから利用されていた街道です。その端を発する長町の笹谷街道周辺4箇所で同時に紙芝居を上演するという町おこしイベント「仙台長町紙芝居フェスティバル」が開催されました。MELONは食部会で作製した「お家のなかのネオニコチノイド？」、市販の環境紙芝居「さかなたちとのおやくそく」等を上演。シャボン玉やタンバリンを使いながら、節電や環境保全について楽しく伝えることができました。

同じ場所で上演した浪江まち物語伝え隊の紙芝居は、震災時の体験をもとにした作品のため、皆じっと聞き入っていました。また、NPO法人劇団仙台小劇場が紙芝居の他に「型抜き」を用意し、親子連れが一緒に楽しんでいました。

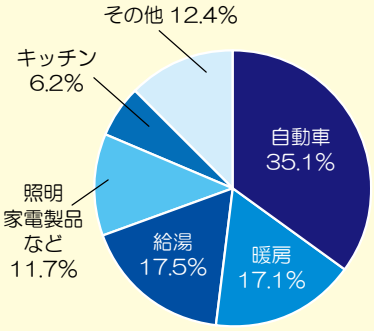
地域イベントとして毎年続けることの大切さを感じます。来年も出演するので遊びにきてください。紙芝居の上演も大歓迎です♪

「考えてみよう! 宮城県の家庭の現状」の小冊子を発行予定!

家庭から排出されるCO_2の割合や光熱費（4人世帯円/年）についての現状を掲載した小冊子を発行予定です。

さらに国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」や地域で活躍する宮城県地球温暖化防止活動推進員の紹介もする予定です。

まずは宮城の現状を知るところから始めましょう！



宮城県 1世帯当たり
約 5900kg-CO_2/年
データ元：2017 年度うちエコ診断結果

2017年度の宮城県
1世帯当たりのCO_2排出割合

災害対策! 太陽光発電はじめてみませんか?

「災害時の対策、これで足りてるかな？」と思うことはありませんか。「タイニーライト・ナノ発電所セット」は、女性でも片手で持てる太陽光発電パネルと充電式バッテリーのセットです。

携帯電話、iPadなどを充電したり、LED照明、パソコン、小型扇風機などを動かすことができます（※一般家電製品で活用する場合は、別売のインバーターが必要です）。

夏はベランダやお庭で、冬は室内の窓辺でも発電可能！

小さな太陽光発電、はじめてみませんか？

詳細チラシ（PDF）
http://www.melon.or.jp/melon/img/paper/hatsuden.pdf

編集後記

■老眼、物忘れ、集中力の低下…ひたひたと忍び寄る老齢化を感じています。とりあえず気持ちだけは永遠の30歳！（小林）

■秋は天体観測に良い季節。真上に秋の星座、東からはオリオン座など明るい冬の星座が昇ってきます。天の川がある方向、東→北→西の空を広い視野で見上げるのがオススメです☆（高橋）

■お出掛けの季節、カメラをもって色んな所に行きたいですね。松島や鳴子峡…そして、動物園と水族館にも行きたい！（吉田）

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

10/27（土）	「秋の森でキコリ体験！～ in 尚絅学院大学～」開催 「森で学ぶ親子　環境学習会」開催 「ネイティブと英語で学ぶ環境学習会」開催
10/28（日）	「加美町秋まつり」環境フェアにブース出展
11/3（土・祝）	「環境フェア 2018 かなん」にブース出展
11/3（土・祝）～ 11（日）	「オーガニック・ウィーク・センダイ 2018」実施
11/6（火）	MELONcafe 企画部　打合せ
11/7（水）	「仙臺農塾 Vol.7 第 1 回『こころ満たされる野菜作り～共生し育てる有機農業』」開催
11/11（日）	「エコ・フェスタ 2018（気仙沼市）」にブース出展
11/15（木）	4R 推進部会　例会
11/16（金）	水部会　例会
11/17（土）	「MELONcafe プチ講座　クリスマスを楽しく♪松ぼっくりのサンタ作り」開催
11/28（水）	みやぎ里山応援団　例会
12/2（日）	「環境フォーラムせんだい 2018」にブース出展
12/15（土）	「MELONcafe プチ講座　ロウソクをリメイク♪リメイクキャンドル作り」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

〈会員状況〉

	601 名
法人	64
任意団体	9
個人	528

2018 年 9 月 28 日現在

ボランティアポイントカード制度をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1 ポイント差し上げます。5 つ貯まると 1,000 円分の MELON 協力商品券と交換できます。

MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になれます。

発行元　公益財団法人　みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）Miyagi Environmental Life Out-reach Network
〒 981-0933　仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F
★事務局　TEL 022-276-5118　FAX 022-219-5713
★情報センター　TEL 022-301-9146　FAX 022-219-5713
★ストップ温暖化センターみやぎ　TEL 022-301-9145　FAX 022-219-5710
E-mail　melon@miyagi.jpn.org　URL http://www.melon.or.jp/melon/
落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。

RICE INK ®
この印刷物は、輸送マイレージ低減によるCO_2削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。

※ MELON 情報紙は再生紙を使用しています。